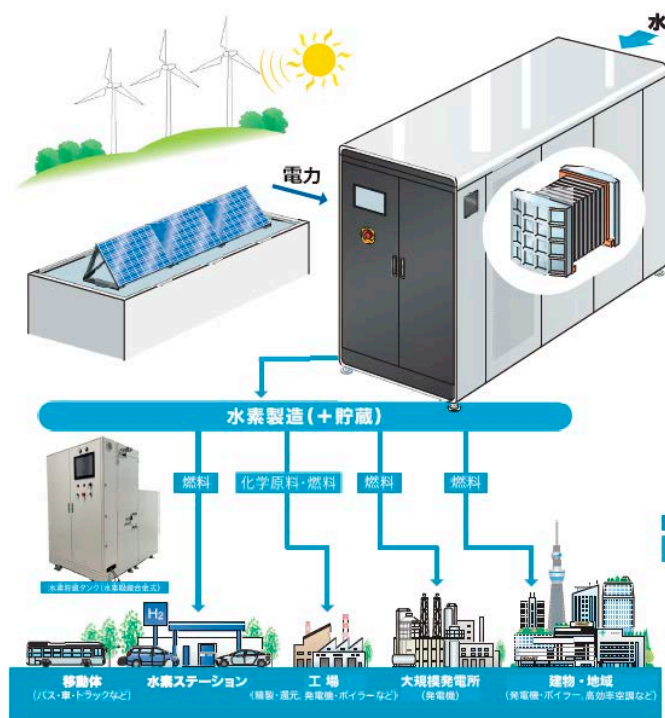


■ 水電解水素製造装置“Hydro Creator®”の導入イメージ



**水電解装置の特徴②**  
**独自開発の電解セルスタック**  
 一体型セル構造の短径を流し、高効率な電解セルスタックを開発（従来の1.5～1.5倍インポート）  
 設計・製作技術を自社で有するため、顧客ニーズにあじた特注品にも対応可能

**水電解装置の特徴①**  
**独自の開発アプローチ**  
 水電解と燃料電池を一つのセルシステムで行う「水電解・燃料電池一体型セルシステム」で長年貯ってきた技術を用いて、水電解専用装置を開発・装置メーカーの自社で本装置を開発

**水電解装置の特徴③**  
**独自開発のシステム**  
 独自の水分取除技術により、システム効率の向上が貢献（従来の1.0～2.0倍インポート）  
 独自の制御技術により、出力変動による性能劣化を低減



**水電解装置“Hydro-Creator®”の概要**

型式	項目	仕様
固体高分子形	ガス製造能力	水素：～5.0Nm <sup>3</sup> /h、100Nm <sup>3</sup> /h 酸素：～2.5Nm <sup>3</sup> /h、50Nm <sup>3</sup> /h
	ガス製造圧力	水素：～0.9MPa(G) 酸素：常圧
	水素ガス純度	99.99～99.999% (0.9MPa(G)電解時のドライベース)
	水素ガス露点温度	-50℃以下(大気圧換算)

図46 水素エネルギー利用システム  
(高砂熱学工業株式会社より資料提供)

(3) 現場や現場事務所でCO<sub>2</sub>排出量削減への取り組み事例

現場ではCO<sub>2</sub>排出量を減らすべく日々取り組みを行っています。次にあげるのはほんの一例ですが、現場や現場事務所で実践されている取り組み事例です。

【各Scope（スコープ） 1・2・3に対する取り組み】

- ①現場通勤リース車をハイブリッド車またはEV車への切り替え
- ②現場事務所のLED照明化
- ③事務所の窓面に遮熱・断熱フィルムを施工
- ④現場事務所に太陽光パネルの設置
- ⑤蓄電池（太陽光）を利用した高所作業車の充電
- ⑥発電機使用時にバイオディーゼル燃料の活用
- ⑦現場通勤は乗り合い自動車や乗り合いバス利用により車両走行距離を抑制
- ⑧照明の人感センサー・ウィークリータイマーの採用
- ⑨現場事務所の屋上緑化や冷えルーフ（株サワヤ）採用